

公園の風景

= もうすぐお別れ =



昨年 11 月に公園にやって来て、公園の冬を楽しんでいたズグロカモメたち。秋に来園したときは、頭の羽は白く遠目にはユリカモメと見間違われはることも。しかし今、春の兆しのなか繁殖の時を向かえた成鳥たちの頭は黒い羽に覆われ始めた。まもなく繁殖地の黄海、渤海沿岸に旅立つ。ズグロカモメさん、もうすぐお別れね。元気に子育てに励み、秋には幼鳥を連れて公園にきてね。春は生き物にとっても別れと旅立ちの時なのだ。

= ミサゴの人工営巣台 =

公園の東側にある干潟の傍に、鉄パイプによる建造物が出現した。ミサゴがマイホームを作ってくれればと設置された人工巣台である。高さ 10m の鉄塔は、見上げてみるとテッペンに数本の流木がおかされている。マイホームの土台はできたから、ミサゴが営巣してくれるかが、これからの楽しみだ。観察ホールからも良く見えるため、もし繁殖に利用してくれたら、この人工巣台でミサゴが繰り広げる子育てのライブをつぶさに見ることが出来る。公園職員は「今年の繁殖には間に合わないだろうけど、若い成鳥が居ついてくれたら」と期待をよせている。



= 子どもレンジャー 頑張りました!! =



3月19日(日)平成28年度子どもレンジャークラブの終了式があり、10過程以上参加した6人の子どもレンジャーに認定証とレンジャーバッジが授与さ、最終回の「公園マップ作り」までの12の過程が設定されており一年間じっくりと公園で自然を学びました。

参加していた子どもは「いろんな生き物がいた。クリークで魚釣り大会とか干潟でドッジボールとかをやりたい」などと夢のある発言をする

子どももいて、結構評判の行事となっています。

子どもレンジャークラブは毎月第3日曜日に開催されます。次年度も再度チャレンジする子ども数多いそうです。